2026 年度 MDC 募集要項

2026.8.30

本郷台キリスト教会

A. MDC について

MDC とは、ミッション 3000 弟子訓練センター（Mission3000 Disciples' Center）の頭文字から取ったものです。ミッション 3000 は、本郷台キリスト教会に集う兄弟姉妹がキリストの愛に満ち溢れ、遣わされるそれぞれの場において神の愛を体現していく群れとなるようにと与えられた本郷台キリスト教会のビジョンです。そしてこのビジョンを持って、教会はまだ救われていない人々だけでなく、日本や世界の諸教会に仕えていきたいと願っています。

MDC は主からの召しに応え、本郷台キリスト教会を通して主が現わそうとしているみわざのために献身し、キリストの弟子として仕えたいと願う方々に対して訓練の場を提供するところです。あなたが、主によって与えられている賜物と召命に応える人生を生きるなら、あなたもあなたの周りの人々も主にあって豊かにされていくのです。

B. MDC の理念

「聴従愛仕」：神に聴いて従い、人に愛で仕える

【聴従】

1. みことばと祈りによって神に聴く（詩篇 50:7）
2. 神に語られた事に忠実に従う（Ⅰサムエル 15:22）

【愛仕】

1. キリストが愛されたように、神を愛し、人を愛する（マタイ 22:37-39）
2. キリストが仕えられたように、いつでもどこでも忠実に仕える（ヨハネ 13:14）

C. MDC の目的

1. MDC は、本郷台キリスト教会に与えられたビジョンを共有し、それぞれがその使命と賜物を見出し、深めていく場である。さらに、その使命と賜物を、生涯を通して磨いていくことのできるライフスタイルを身につけることを目的とする（マタイ 25:14-30）。
2. MDC は、途中で投げ出すことができない訓練の場である。修了時には、与えられた使命と賜物によって、教会内外を問わずどのような形でも、主の召しに応えて仕えることのできる献身者となることを目指す。

D. 訓練の期間と内容

1. 訓練期間は原則１年半とする。
2. 原則、週３日(火、木、日)の夕方に訓練を行う。それ以外にも集中講義が入る場合もある。
   （出来る限り、学期ごとにあらかじめ見込みをお伝えします。）
3. 基本的に、早天祈祷会に出席する。
4. バルナバ担当者と 2 週間に一度バルナバタイムを持ち、自己評価表を書き込む。
5. 教会内で責任を持って掃除する場所を決め、1 週間に一度は必ず自主的に掃除をして綺麗にする。
6. 共同体としての生活の場であり、教会での奉仕を通して学ぶ場である。
7. 国内・ 海外研修を行なう。

E. MDC の特徴

キリストが１２人を傍におき、生活を通して訓練し、弟子として養成したことを模範とする。

1. 牧師・献身者やバルナバ担当者との関わりの中で、霊性の深化と牧会・伝道の技術を体得していく。
2. 牧会ファミリーの現場を通して、牧会と伝道に熟練した働き人となる。
3. 与えられた賜物を活用し仕え、さらに新しい賜物を見出していく。

MDC から育つリーダーは、

- 牧会者やバルナバ担当者一人一人に与えられている賜物や姿勢から学び、自分のものとしていく。
- 失敗を恐れずにチャレンジし、主の栄光のために自分の賜物の用い方を学んでいく。
- 個人伝道で魂を勝ち取る。
- 仕える相手の賜物を見出し、用いていく。
- 魂を生み出すリーダーを育てていく。

F. MDC で取り組む３つの分野

MDC での学びは、「みことば」、「品性」、「技術」の３つの分野に取り組みます。これらの訓練は、あなたと御霊の間でなされ、成熟していきます。

1. みことば

第１のゴールは、クリスチャンの基本的な信条と聖書の理解を確固たるものにすることです。

「真理の御霊」が、あなたをすべての真理に導き入れてくださいます。

2. 品性

第２のゴールは、満ち満ちた神との関係を築き、生活の全領域に渡って成熟と成長の喜びを味わうことです。「品性変革の御霊」が、あなたを、生活において御霊の実を結ぶ者、キリストに似た者へと造り変えてくださいます。

3. 技術

第３のゴールは、共同体の中でともに仕える技術、教会の奉仕で具体的に必要な技術を身につけながら、主の栄光のために自らの賜物をどのように用いていけばよいかを学ぶことです。

「働きの御霊」が、キリストが教会に残された働きを完成させる力を、私たちに与えてくださいます。

強調点は、神に用いられるバランスの取れた器となることです。そのために必要な聖書に関する知識と共に、同労者と共に働く体験を大切にしています。MDC では、訓練生の心に考える種を蒔き、体験によって栄養を与えるのです。人は知識だけでは偏ります。学んだ知識が、体験によって裏付けされるとき確固たるものとなるのです。

G. バルナバ担当者について

MDC において最も大切なことは、あなたの生活が変えられることです。訓練生には一人一人バルナバ担当者がつき、その生活をケアします。個人生活の助け、弱点の克服、内なる人の強化などのために、共に祈り、共に考えてくれます。

バルナバ担当者はあなたを助けますが、決して甘やかすことはありません。必要とあれば厳しいことを言うこともあるでしょう。あなたが現状に満足しきってしまうことがないように押し出すこともあります。あなたがこのコースを修了するために、バルナバ担当者との関係はとても重要です。

H. 共同体生活について

> 神を愛すると言いながら兄弟を憎んでいるなら、その人は偽り者です。
> 目に見える兄弟を愛していない者に、目に見えない神を愛することはできません。（Ⅰヨハネ 4:20）

人と神との関係は、そのまま他者との関係にも反映されます。逆も同じです。あなたと人との関係は重要です。神に仕えたいと願う人にとってはなおさらです。何としても、うまく人と関わらなくてはなりません。自分の人生を正直にさらして、以下の３つの分野で共同体生活を意識するようにします。

1. 仲間との関係

まず、これから多くの時間をともに過ごすことになる、他の MDC 生たちとの関係がとても大切です。友人関係を築く良い時です。チームとして動くことを学びます。苦手なタイプの人たちもいるかもしれませんが、この人たちと共に働くことが出来なければ、効果的な働きをする神のしもべとなることは困難です。

2. 指導者との関係

各クラスの講師、先生方、あるいはバルナバ担当者との関係もとても大切です。指導者とどのように関わるかは、自分自身の内面が探られる機会でもあります。積極的に良い人間関係を築くように取り組みながら、指導的な立場の方々と正しく関わることを学んでいきましょう。

3. 仕える相手との関係

教会内外での奉仕や伝道実践を通して、多くの人と関わることになるでしょう。クリスチャン、ノンクリスチャンを問わず、いろいろな価値観を持った方々がおられます。その様な出会いの一つ一つを大切にしながら関係を築くことを学び、これを貴重な体験として生かします。

I. 訓練生に求められること

1. 新生していること：新生したクリスチャンであり、かつ霊的に成長する意欲、主に仕えていく意欲が求められます。
2. 聖書：期間中に最低１回は聖書を通読しなければなりません。１４０箇所ほどの暗誦聖句があります。
3. 適切な振る舞い：MDC の雰囲気は、「励まし」と「受け入れ」です。いつでもクリスチャンとして高いレベルの行動が求められます。あなたの態度に何らかの間違いがあれば、躊躇なくそれを正します。
4. 異性との付き合い（独身訓練生対象）： MDC の訓練期間中は、異性との交際は原則禁止です。例外として、MDC に来る以前から交際があり、主任牧師の賛成と祝福があった場合、それによって訓練が妨げられないことを前提に交際が認められることがあります。
5. 出席：訓練生はすべての講義と実習に参加する必要があります。病気その他、やむを得ない場合は欠かさず連絡をすること。また時間を厳守すること。時間に対する厳密さは弟子訓練であり、責任を持つということの第一歩です。効果的な働きをするために不可欠な資質です。訓練生は 20 ポイントが与えられ、理由、連絡もなく欠席、または連絡なく遅刻した場合、マイナス 1 ポイントと

なり、マイナス 15 ポイントとなると主任牧師との面談をうけます。マイナス 20 ポイントとなると修了はできません。

6. 実践訓練：訓練生は教会の中で実質的な奉仕をします。主任牧師が、それぞれのバルナバ担当者と相談して、この領域での合否を決定します。
7. 宿題：訓練生は教師からの宿題を、すべて決められた期日までにこなすことが求められます。正当な理由なく頻繁に遅れる者は、コースの修了ができません。
8. 評価：修了のためには、すべての教科にパスしなければなりません。ひとつでも落とした場合は、その教科を終えるまでは修了が認められません。ただし、いくつかの教科では、追試が認められます。
9. 生活：仕事や学業を継続しながら、あるいは主婦として家庭での責任を持ちながらの訓練と奉仕は、多くのチャレンジがあるでしょう。結婚している訓練生にとっては、配偶者の理解と協力が必要となります。訓練期間中は節約した生活になるかもしれませんが、全ての必要を満たしてくださる主に期待し、主を体験するときでもあります。共に学ぶ仲間や、バルナバ担当者と良く話し、祈り合い、主を体験していきましょう。
10. ゲーム等：あなたにとって、自分と神様との関係を妨げているもの、神様以上に心や時間を費やしているものは何でしょうか。訓練生は、訓練期間中、そのようなもの（ゲーム、TV、動画視聴、SNS 等）を主に捧げるように求められます。人とどのようにコミュニケーションをとるか学べる大切な期間ですので、そのことに集中できるよう、バルナバと祈りつつ取り組んでいきましょう。

尚、上記の「訓練生に求められること」に沿うことが難しいが、訓練を受けたいという場合は、その理由を書面に書いて提出してください。

J. MDC に入る資格と必要な書類

１．MDC に入る資格

（１） 原則として教会員であること。

（２） 牧会ファミリーを経験していることが望ましい。

（３） 以下の ２．の書類をすべて提出し、最終的に主任牧師に入学を許可された者。

２．必要な書類

（１） MDC 受入願書・・・本人の受入願、家族（親または配偶者）による受入願

（２） 推薦書（所属する牧会ファミリー責任者など。誰に推薦してもらえば良いか分からない場合は、佐藤賢二牧師に相談してください。）

（３） 救いと召命の証し（1500～2000 字程度）

K. MDC に入るための諸費用

1. 教材・テキスト代 …… 実費
2. 研修費　　5,000 円／毎月（ゲスト講師費負担分・研修準備金として）
3. 寮費(入寮生のみ) …… 家賃を入寮者で負担（食費等の生活費は実費）
4. 備品消耗品費(入寮生のみ・入所時のみ) … 5,000 円
5. 国内・海外研修費用　　約 10～20 万円
6. 集中講習時の交通費・諸雑費 … 実費

※ 別途料金で個人レッスンも受けられます(ピアノ、ボイストレーニングなど)。

L. MDC の基本カリキュラム

	火	木	日
17:00-17:40			クラス
17:40-17:50			休憩
17:50-18:30			クラス
18:30-19:00			休憩
19:00-19:40	クラス	クラス	クラス
19:40-19:50	休憩	休憩	休憩
19:50-20:30	クラス	クラス	クラス

※ 上記以外の時間は、生活のために働いたり、奉仕の実践をしたりします。

※ 土曜と日曜は原則として奉仕実践となります。

※ ファミリーの実践や魂との関わりで具体的に仕えることがあります。

※ 外部講師やリーダーシップチーム、また、その他の人が講師として立つこともあります。

※ 掃除の時間は、上記以外の時間で自主的に持つようにしてください。

※ 予定は急に変更になることもあります。

※ やむを得ない場合は、Zoom 等でのオンラインでの参加も認めます。

＜講師＞

通常講義

（１） 池田恵賜 (本郷台キリスト教会主任牧師)

（２） 佐藤賢二 (本郷台キリスト教会牧師)

（3） 木島浩子 (本郷台キリスト教会伝道師)

（4） 月井サムエル　(本郷台キリスト教会伝道師)

（5） 月井 博 (本郷台キリスト教会アドバイザー牧師)

（6） 梶野智弘 (本郷台キリスト教会)

（7） 笠原孝太 (本郷台キリスト教会)

特別講義（予定）

外部講師

M. MDC 入学前後のスケジュール

期 日	内 容	備 考
9 月末まで	必要書類の提出	
10 月 18 日まで	牧会者との面談	本人、親または配偶者、牧会者と三者で面談をします。 面談のスケジュールは、個別に調整します。
10 月 18 日まで	入学許可の連絡	個別に連絡します。
10 月 18 日まで	入寮調整・手続き	入寮生のみ
10 月 25 日（日）	MDC 入所式	礼拝にて
10 月 25 日（日）午後	オリエンテーション	バルナバとの顔合わせ
月　　日(　　)	通常授業開始	ダイヤモンドチャペル 2 階グレイスホール

※ 入寮生は、原則として入所式の前 1 週間程度を目処に入寮を完了することになります。